

センターサポート（OT） 高等部3年

・重複障がい（肢体不自由・知的障がい）

1～2学期

【身体面】電動車椅子で自走できる。歩行器で歩くことができる。

腕を動かすことはできるが、可動範囲が狭い。

【認知面】日常会話は理解している。自分の気持ちを言葉で伝えることができる。ひらがなや日常で使う漢字を読むことができる。

100までの数唱ができる。

▶相談内容

- iPadで三択問題を両手を使ってタッチしているが、緊張のため腕を動かしにくく、ミスタッチをしたり、タッチまでに時間がかかったりして思うように選ぶことができず、苦勞している。



▶アドバイス



- ①感知度の良い物を使ってはどうか。
（例えばタッチペンやタッチ用指サックなど）
- ②画面の角度も変えてみてはどうか。

▶相談内容

- 画面の角度やタッチペンを使っている様子を見て改善点や問題点はあるか教えて欲しい。



▶アドバイス



- ①車イスのテーブルは不安定で、腕も動かしにくそうである。肘の部分が安定できるようにすると良い。
- ②書見台を使うことにより、視線が上がり姿勢がよくなっているので有効である。
- ③片手ばかりではなく、もう一方の手も機能訓練のために使うとよい。

▶教材・指導の工夫

- ・握りやすくしたタッチペンを使った。
- ・画面を立てて角度をつけた。



- ・車イスのテーブルと肘置きを外し、カットテーブルを使い、肘の可動域を安定させた。
- ・書見台を使い画面を立てた。



- ・疲れてくるとタッチがうまくいかなくなってくるため、様子を見て肩や腕のマッサージをして休憩をはさんだり、反対の手に変えたりして取り組むようにする。利き手の左手ばかりではなく、右手も訓練のために使うようにする。

◎タッチがスムーズになり、問題を解くスピードが上がり、次から次へと学習しようとする意欲が増した。

◎細かい部分もタッチできるようになり、自分一人で最後まで進めることができ、iPadの操作に自信をもって取り組むことができるようになった。

